

平成 1 3 年度試験研究成果

区分	普及	品種 チモシー中生品種「ホクセイ」		
[要約] チモシー品種「ホクセイ」はノサップ、ホクオウより出穂期は遅く、耐倒伏性、収量性に優れる品種である。				
キーワード	チモシー	中生品種		畜産研究所飼料生産研究室 外山畜産研究室

1. 背景とねらい

本県では比較的平坦な地域から高標高地域（公共草地を含む）まで約43,000haに及ぶ豊富な草地生産基盤を活かした畜産経営を推進している。しかし、現状ではその飼料の多くを輸入に依存していることもあり、新農基法の目標である自給率の向上を図るためには収量性の向上や優良品種の導入等の対策を講じる必要がある。そこで、最近の試験成績から本県での高位生産が期待できるチモシー品種を紹介する。

2. 技術の内容

(1) 品種の来歴

国内育成及び海外導入の24品種・系統を母集団として個体選抜と栄養系選抜を行い、最終選抜した5品種に由来する7栄養系を構成母本とする合成品種。1997年に種苗登録された。

(2) 品種の特性

- ア 出穂始期は滝沢（標高250m）で6/10、外山（標高800m）で6/23であり、標準品種であるホクオウ、ノサップよりも滝沢では5日、外山では3日ほど遅い。出穂期は滝沢で6/17、外山で6/28であり、ホクオウ、ノサップよりも滝沢で5日、外山では2～4日ほど遅い（表1）。
- イ 耐倒伏性はノサップ並でホクオウより優れる（表2）。
- ウ 斑点病耐性はホクオウとほぼ同程度である（表2）。
- エ 採草利用した場合の収量性については滝沢ではほぼホクオウ並だが、外山ではホクオウ、ノサップよりも多収傾向を示す（表3）。

3. 普及上の留意事項

- (1) 北海道での試験成績によれば熟期的には早生品種に位置づけられるが、本県においては早～晩生の品種間の出穂期幅が狭まる傾向にあることから中生品種として扱う。
- (2) 播種量は1.5kg/10aとする。
- (3) チモシーの中では耐倒伏性に優れる品種であるが、草種の特性として利用初年目は特に倒伏に弱く、出穂期が本県では梅雨期と重なるため、1番草の利用時期は通常よりも早め（出穂始期～出穂期）とすることが望ましい。
- (4) 栽培管理については牧草・飼料作物生産利用指針を基本とすること。

4. 技術の適応地帯

県下全域とする。ただし、高温、乾燥の激しい地帯での利用は避けること。
普及見込み面積 60ha

5. 当該事項に係る試験研究課題

- (255) 「採草用牧草の品種選定試験」
- (2000) 「チモシー」(H11～13、国補)

6. 参考文献・資料

- (1) 社団法人日本飼料作物種子協会「牧草・飼料作物の品種解説」
- (2) 岩手県農林水産部「牧草・飼料作物生産利用指針」平成13年3月
- (3) 農林水産技術会議事務局「飼料作物系統適応性検定試験実施要領（改訂5版）」平成13年4月

7. 試験成績の概要

(1) 耕種概要

- ア 試験実施場所：滝沢畜産研究所内圃場（標高250m）、外山畜産研究室内圃場（標高800m）
- イ 播種日：滝沢（平成9年8月27日）、外山（平成9年9月5日）
- ウ 播種量：1.5kg/10a散播
- エ 施肥量（kg/10a）：造成時 N-P-K=7-14-7
追肥時 N-P-K=4-2-4 早春、各番草刈取後（ただし最終刈取後は除く）

(2) 品種特性

表1 出穂期

品種名	場所	出穂始期（月日）					出穂期（月日）					出穂程度 (1-9)
		H10	H11	H12	H13	平均	H10	H11	H12	H13	平均	
ホクセイ	滝沢	6/11	6/16	6/09	6/05	6/10	6/17	6/22	6/16	6/14	6/17	4.1
	外山	6/26	6/25	6/20	6/22	6/23	7/04	6/28	6/24	6/26	6/28	4.3
ノサップ（標）	滝沢	5/29	6/09	6/07	6/04	6/05	6/08	6/14	6/13	6/11	6/12	4.1
	外山	6/20	6/20	6/20	6/22	6/21	6/28	6/23	6/24	6/27	6/26	4.4
ホクオウ（標）	滝沢	5/29	6/09	6/07	6/04	6/05	6/08	6/16	6/13	6/11	6/12	4.1
	外山	6/20	6/20	6/19	6/19	6/20	6/28	6/23	6/23	6/23	6/24	4.2

：1(出穂0本/m²)、3(1-50本/m²)、5(50-100本/m²)、7(100-200本/m²)、9(200本以上/m²)とする評点法で示す。

表2 生育特性及び形態的特性（試験年次平均）

品種名	場所	草丈（cm）			倒伏程度 ¹ (1無-9甚)	病害 ² (1無-9甚)	越夏性 (1極不良-9極良)	秋被度 (%)
		1番草	2番草	3番草				
ホクセイ	滝沢	95.0	52.9	48.5		3.5	3.8	60.5
	外山	92.0	73.5	38.1	3.7	4.0	2.9	60.7
ノサップ（標）	滝沢	86.1	58.2	45.6		2.8	3.7	62.8
	外山	88.5	73.2	37.5	4.3	4.0	3.2	59.7
ホクオウ（標）	滝沢	88.3	53.3	46.4		3.4	3.2	63.0
	外山	86.4	72.2	38.1	5.3	4.2	3.1	57.7

1：倒伏程度は初年度データ（滝沢は未調査）

2：病害は斑点病で1番草刈取調査時の評価である。

表3 収量性

(DMkg/a)

品種名	場所	1年目	2年目	3年目	4年目	平均収量	収量比
ホクセイ	滝沢	121.9(66.8)	68.2(44.1)	78.4(52.0)	87.9(39.4)	89.1(50.6)	99.8
	外山	120.2(75.5)	98.9(42.1)	95.5(44.4)	67.9(39.7)	95.6(50.4)	106.9
ノサップ（標）	滝沢	108.1(56.2)	69.9(37.0)	86.9(49.7)	80.8(35.3)	86.4(44.6)	96.8
	外山	114.6(64.1)	102.0(39.4)	90.3(36.8)	68.1(44.1)	93.8(46.1)	104.9
ホクオウ（標）	滝沢	124.9(58.4)	69.0(44.6)	80.6(43.1)	82.7(36.9)	89.3(45.8)	100.0
	外山	108.0(61.1)	100.8(41.7)	96.5(45.3)	52.2(29.0)	89.4(44.3)	100.0

()は1番草収量を示す。収量比はホクオウを100とした値。